

潜在看護職員復職支援実務研修 実施要綱

1 目的

看護職員の確保を図るために、未就業の看護職員等の有資格者のうち、病院等への就業を希望する者を対象に、病院又は訪問看護ステーションにおける実務研修を実施し、就業に対する不安を軽減することで病院等への就業を促進する。

2 主催

公益社団法人高知県看護協会、高知県ナースセンター(高知県の委託事業)

3 研修対象者

- 1) 復職支援研修(講義・演習)2日間を受講終了した者
- 2) 病院等への就業を希望する未就業の看護職員等の有資格者(以下「研修希望者」で、実務研修終了後、県内の病院等において就業を希望する者。
- 3) 年度内に実務研修ができる者

4 研修協力施設について

県内で看護実務研修の受け入れに協力する病院、または訪問看護ステーション(県内全域)(以下「研修協力施設」)は、施設で可能な範囲で研修業務計画を立案し実施する。

なお、研修協力施設には、当該研修にかかわる担当者を必要とする。

研修協力施設として、登録する場合は、「高知県潜在看護職員等復職研修事業登録票」に必要な事項を記入の上、協会で保管する。

5 研修内容等

研修内容は、次に掲げる項目を参考として行う。

- 1) 病院の看護の概要
- 2) 患者参画の看護の展開(看護計画)、看護記録
- 3) 看護職が扱う医療機器の取扱い、検査データの見方
- 4) 感染防止対策
- 5) 医療安全対策
- 6) 看護技術(採血, 注射, 輸液, 褥瘡ケア等)見学

6 研修期間

募集開始後～翌年の1月末日までの間で、受講受入が可能な日

7 研修日数

1回/人当たり原則3日間の臨床研修を実施する。

<研修生>

1 研修施設の決定

研修協力施設の中から、意向等を勘案して決定する。

2 研修方法

研修施設における実務型の研修とする。

3 研修申し込み方法

研修希望者は、下記の書類を高知県ナースセンターに提出する。

- ① 申込書
- ② 誓約書
- ③ 看護師等免許証の写し

4 研修に係る経費(受講料)

- ・無料とする。
- ・研修協力施設までの旅費、食費、宿泊費等に要する経費は研修生の負担とする。

5 その他

(1) 保険への加入

高知県看護協会に対応する。

(2) 服装について

- ・白衣は病院で準備する。ナースシューズは、研修生が準備する。
- ・訪問看護ステーションの場合は、動きやすい服装で参加する。

(3) 健康診断等

研修施設側の求めがあった場合は、受講決定者は、事前に健康診断書等を提出する。

(4) 研修生は、研修終了後に研修受入病院に就業する義務は負わないものとする。

(5) 研修終了後は、研修生は実践研修終了報告書を高知県看護協会に提出する。

令和5年度潜在看護職員復職研修事業参加者申込書

提出日 令和 年 月 日

ふりがな 氏 名		
	年 齢	
	生年月日	
住 所	〒	
連 絡 先	(携帯) (自宅・その他) ※必ず連絡が取れる番号をご記入ください	
取 得 免 許	保健師 助産師 看護師 准看護師 *取得しているものすべてに○を付けてください。	
経 験 年 数	約 年	看護職の離職期間 約 年 ヶ月 (最後の退職からの期間)
サ イ ズ	普段の服のサイズ ()	身長 体重
一時保育	希望する	希望しない

* 個人情報について、守秘義務を遵守させていただきます。

【問合せ先】

〒780-8066

高知市朝倉己 825 番地 5

高知県ナースセンター

担当: 谷口 喜美代 利岡 裕美

TEL : 088-844-0758

FAX : 088-844-0053

Mail: infonurse@kochi-kangokyokai.or.jp

個人情報保護に関する誓約書

研修施設

代表者

様

私は、貴施設における研修期間中は、個人情報の保護に関する趣旨を十分理解し、これを遵守いたします。また、終了後においても、知り得た個人情報を、正当な事由なく第三者に漏らしません。

以上、誠実に遵守することを誓います。

令和 年 月 日

住所

氏名

印

(研修生)

実務研修を終えて

研修生名()

研修施設名	
研修期間 (日時)	
研修後の感想 1) 研修内容は理解できましたか	①とてもそう思う ②ややそう思う ③余りそう思わない ④全くそう思わない
2) 参加した目的は達成できましたか	①とてもそう思う ②ややそう思う ③余りそう思わない ④全くそう思わない
3) 今後の活動に活用できますか	①とてもそう思う ②ややそう思う ③余りそう思わない ④全くそう思わない
4) 課題解決の方向性が明確になりましたか	①とてもそう思う ②ややそう思う ③余りそう思わない ④全くそう思わない
要望・感想	

潜在看護職員等復職研修カリキュラム(講義・演習、実習)

(1) 病院の看護の概要

ねらい:看護界の最新の情報や倫理観等を改めて考える。

(2) 患者参画の看護の展開(看護計画)、看護記録

ねらい:電子カルテやその取扱い方法、秘密保持等について学ぶ。

(3) 看護職が扱う医療機器の取扱い, 検査ゲーターの見方

ねらい:輸液ポンプ、シリンジポンプの正しい操作が実践できる。

(4) 感染防止対策

ねらい:感染管理の基本的な考え方、標準予防策、感染経路予防策、個人予防具の正しい使用方法、吸引について知識技術を修得する。

(5) 医療安全対策

ねらい:医療安全管理の考え方、具体的な方法について知識を得ると共に実践できる

(6) 看護技術(採血, 注射, 輸液, 褥創ケア,体位変換等)見学

ねらい:正しい方法で実施方法を学ぶ。